



資 料 4
令和2年11月16日
R02総市委02

第2期 八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

第2回 八戸市総合計画等推進市民委員会



第1期総合戦略での取組を継承・拡充するとともに、引き続き国や県をはじめとする関係機関等との効果な連携により、地域創生に向けた取組を着実に推進するため、令和元年度に第2期「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

第1章 人口ビジョン

- 当市の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関し市民との認識の共有を目指す。
- 今後のまちづくりの方向を踏まえ、自然増減や社会増減に関する仮定を設定し、「人口の将来展望」として、当市の将来人口の推計を行う。

第2章 総合戦略

- 人口ビジョンを踏まえ、今後5年間の政策の基本目標と具体的な施策を位置づける。

基本目標

- 1 多様な就業機会を創出する、これを支える人材を育て活かす
- 2 新しい人の流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
- 4 住み続けたいまちをかたちづくる

【参考】策定経過（令和元年度）

10月 8日	第1回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	
11月 5日	第2回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	基本方針
21日	市議会総務協議会	
12月13日	第1回 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会	原案
令和2年 2月 6日	第3回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	
6日	パブリックコメント（～3/6）	
21日	第2回 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会	案
3月10日	第4回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	
18日	市議会総務協議会	
24日	第5回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	策定

【計画期間】 R2(2020)～R6(2024)年度の5年間

【進行管理】数値目標や重要業績評価指標(KPI)の達成度により、有識者や市民参画のもと、毎年度効果検証を行う。



当市における人口の将来展望

- 国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」や青森県の「まち・ひと・しごと創生青森県長期人口ビジョン」を勘案し、人口減少克服の実現に係る仮定を設定し、将来人口の推計を行う。

まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（国）

- ① **合計特殊出生率**：2030年に1.8に上昇
2040年に2.07まで上昇

・2060年に総人口1億人程度が確保される
(長期的には9,000万人台で安定する)

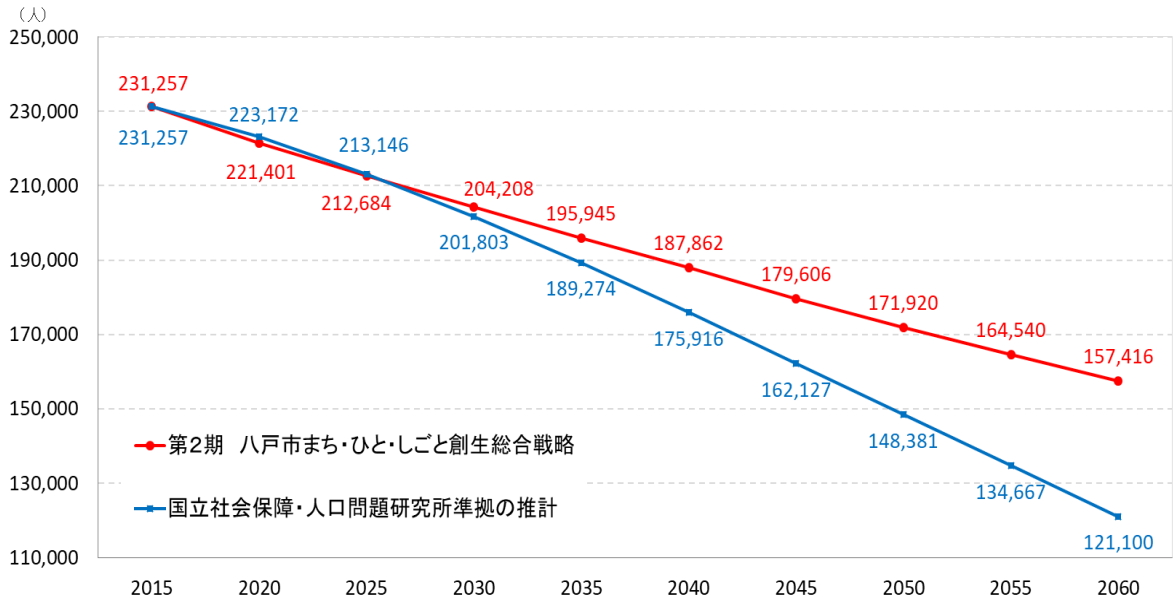
まち・ひと・しごと創生青森県長期人口ビジョン（県）

- ① **合計特殊出生率**：2040年に2.07まで上昇
- ② **平均寿命**：2040年に全国平均並
- ③ **社会増減**：2045年に移動均衡

・2080年以降、約72万人程度で安定する

- ① **合計特殊出生率**：
2030年に1.8、2040年に2.07
まで上昇 **【国・県と同様】**
- ② **平均寿命**：
2040年に全国平均並 **【県と同様】**
- ③ **社会増減**：
2030年に移動均衡 **【市独自】**

多様な産業集積や拠点性等の当市の特性を踏まえ、第1期と同様に設定。





基本目標1 多様な就業機会を創出する、これを支える人材を育て活かす

多様な就業機会を創出し、これを支える人材を育て活かすため、雇用や起業、事業承継の促進を図るとともに、当市の特色ある地域産業の成長・発展に資する人材育成の取組を推進する。

◎数値目標：令和7（2025）年

■ 農業産出額：農林水産省「農林水産統計」
149億円以上（平成29年：149億円）

■ 製造品出荷額等：経済産業省「工業統計調査」
5,400億円（平成29年：5,341億円）

■ 八戸港水揚げ金額：八戸市「水産統計」
208億円（平成30年：181億円）

■ 就職率：八戸公共職業安定所調べ
現状より増加（平成30年：43.3%）

【施策1】地域産業の成長・発展

- ① 農水畜産業の競争力強化
- ② 中小企業及び小規模事業者の経営強化と企業の立地促進
- ③ 販路の拡大と八戸港の物流機能の強化

【施策2】雇用・起業・事業承継の促進

- ① 雇用・就業の支援
- ② 起業の促進
- ③ 事業承継の促進

◎主な重要業績評価指標(KPI)：令和7（2025）年

・認定農業者数：128経営体 ←【R1年】138経営体
・水産加工品生産額：388億円 ←【H29年】389億円
・コーディネーター活用件数：115件 ←【H30年】94件
・企業誘致件数：139件 ←【H30年】115件
・八戸港コンテナ貨物取扱量（実入り）：
48,200TEU ←【H30年】37,322TEU

・八戸無料職業紹介所利用者数：
300人 ←【H26～30年】平均253人
・はちのへ創業・事業継承サポートセンターを活用して起業した件数：
40件 ←【H30年】36件



基本目標2 新しいひとの流れをつくる

当市への新しいひとの流れをつくるため、移住・UIJターンの促進や高等教育機関との連携等により東京圏等からの移住や人材還流の促進を図るとともに、関係人口の創出・拡大への取組等により地元とのつながりの拡大を図る。

◎数値目標：令和7(2025)年

■社会増減率：八戸市調べ
現状より改善（平成30年：-0.49%）

【施策1】移住・人材還流・若者定着の促進

- ① 移住・UIJターンの促進
- ② 高等教育機関等との連携や若者の地元定着の促進

【施策2】地元とのつながりの拡大

- ① 地域の魅力の情報発信の充実
- ② 「関係人口」の創出・拡大
- ③ 当市を応援する企業との連携強化

◎主な重要業績評価指標(KPI)：令和7(2025)年

・八戸市無料職業紹介所等におけるUIJターン就職者数：
100人（累計） ←【H26～30年】90人
・市内高等学校卒業就職者の県内就職率：
現状より増加 ←【H30年】53.4%

・八戸市公式SNSの登録者数：
45,547人 ←【R1年】39,967人
・企業版ふるさと納税件数（5年間の延べ件数）：
5件 ←【H31年】1件



基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくるため、安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図るとともに、女性活躍の促進や多文化共生の地域づくりを推進し、高齢者や障がい者等、誰もが活躍できる地域社会の推進を図る。

◎数値目標：令和7(2025)年

■ 合計特殊出生率：八戸市調べ
1.67（平成30年：1.46）

■ 人口千人あたり出生者数：八戸市調べ
7.28（平成30年：6.97）

【施策1】安心して子どもを産み育てられる環境の充実

- ① 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実
- ② 結婚の希望をかなえる施策の充実
- ③ ワーク・ライフ・バランスの推進

◎主な重要業績評価指標(KPI)：令和7(2025)年

・この地域で子育てをしたいと思う親の割合：
92.2% ←【H30年】91.8%

【施策2】女性活躍の促進、多文化共生の地域づくり

- ① 女性活躍の促進
- ② 多文化共生の推進

・女性チャレンジ講座受講生数：380人←【R1年】230人
・日本語講座受講者数：280人 ←【R1年】225人

【施策3】誰もが活躍する地域社会の推進

- ① 協働のまちづくりの推進、市民活動の促進
- ② 高齢者・障がい者等への支援の充実、社会参加の促進

・町内会加入率：60% ←【R1年】54.7%
・シニアボランティア活動実人数：
148人 ←【H31年】113人



基本目標4 住み続けたいまちをかたちづくる

市民が住み続けたいと思えるまちをかたちづくるため、地域において安心して暮らすことができる環境の整備に取り組むとともに、広域化する行政課題に対応するため、八戸広域圏における拠点機能の強化や広域連携の推進を図る。

また、官民連携等による観光地域づくりやブランディングの推進を図るとともに、アートのまちづくり、本のまち八戸、スポーツ・健康まちづくり、地方創生SDGsの推進等、時代にあった個性あふれる地域の形成を図る。

◎数値目標：令和7（2025）年

■平均寿命（全国平均との差）：厚生労働省「市町村別生命表」

全国平均との差を縮小（平成27年：男性1.89歳、女性1.15歳）

■都市機能誘導区域の地価公示価格：八戸市調べ
中心街地区135,000円、田向地区43,000円、八戸駅周辺地区64,000円

（令和元年：中心街地区131,000円、田向地区42,700円、八戸駅周辺地区63,600円）

【施策1】地域における安心の確立

- ① 健康寿命の延伸に向けた施策の充実
- ② 質の高い医療環境の整備
- ③ 防災力の強化

◎主な重要業績評価指標(KPI)：令和7（2025）年

- ・認知症サポーター数：29,000人 ←【H31年】18,148人
- ・災害時要援護者支援に関する協定の締結数(累計)：30件 ←【R1年】21件
- ・自主防災組織の活動カバー率（活動範囲の世帯数の割合）：88.3% ←【H26年】82.9%



基本目標4 住み続けたいまちをかたちづくる

【施策2】拠点機能の強化と広域連携の推進

- ① 交通ネットワークの充実
- ② 広域連携の推進
- ③ コンパクトシティの推進、空き家・空き店舗対策の強化

【施策3】観光地域づくり・ブランディングの推進

- ① 観光ブランドの強化と誘客の推進
- ② 観光客の受入態勢の整備
- ③ 文化財の保存・活用による地域活性化

【施策4】時代にあった個性あふれる地域の形成

- ① アートのまちづくり・本のまち八戸の推進
- ② スポーツ・健康まちづくりの推進
- ③ 中心市街地活性化、陸奥湊駅前地区活性化の推進
- ④ 地方創生SDGsの推進
- ⑤ Society5.0に向けた未来技術の活用による生産性向上と新たな産業の創出

◎ 主な重要業績評価指標(KPI)：令和7(2025)年

・連携中枢都市圏における連携事業数：
85事業 ←【R1年】80事業
・空き店舗・空き地率：8.2% ←【H30年】12.1%
・空き家バンク登録物件の成約件数：
6件 ←【R1年】1件

・宿泊者数：86万4千人 ←【H30年】83万人
・宿泊者観光消費額：195億円 ←【H30年】187万人

・市内プロスポーツチームのホームゲーム来場者数（1試合平均）：1,800人 ←【H30年】1,630人
・中心市街地の歩行者通行量：
75,600人 ←【H30年】61,726万人